眞理の賣出し
(2×9)＝(3×2×3)
肉は三二三
眞理で御座る
其肉はよく……
其値は安く……
此上なしとは
是れ又眞理
夫れに偶へかけて
割引賣出し
肉は三二三
電話三二三

◇九日替りの番組

帝キネ時代映畫の高頭焦點 劇尾上紋十郎と坂東豊昇主演・松枝鶴子と泉清子競助演 幡隨院と法華

一人長兵衛 八巻

氣骨稜々たる彼の一生こそ實も花もあるものであつた中にも法華との對峙こそ彼が争闘中の白眉たるものであつた

マキノ御營すマキノ正博得意の拳闘劇

鑛山冒險人猛闘劇 隼 後篇七巻

久利加羅峠に陣營を張つて數千名の一隊を具したる飯島十三郎の危機―山の老人の活躍

我等のフレンド杉狂兒獨意の活劇映畫、荒木忍、川上君榮助演

＝近世探偵十種の内＝

髪結ひ新三 剃刀 九巻

帝キネ現代悲曲、深川久作 品森かね子・里見明主演

村の巡査 七巻

是非歡樂の夕を當館に

帝キネ マキノ 有聲座 電話四四六番

待たれかねの特製
生菓子
イヨ〱本日より發賣致します
又れ祝折詰物
大勉強致します
外に永野特製パン日曜日毎に二割引是非御來店を乞ふ
永野キャンデーストアー
平町二丁目 電話七五五番

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舗
平町二丁目(電三)

大藏大臣免許
共存＝共榮
誠意＝簡易
と堅實―趣味の貯蓄＝融金の
△絶へず會員を募ります何時でも申込下さい
△本社植田町本町
△支店平町中丁一四
磐城無盡商會

本秋流行の粋を網羅せる
モスリン
ショール 陳列會
何卒御覧下さい……
三井呉服店
電話三十八番
電話七百五十一番

看護婦派出の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

平名産
ブドーアメ
は藥用生ブドー酒を澤山混入して製したる藥養品なり
發賣元 佐藤ブドー酒店
構内賣 久保田バンヤ

鼻の藥は……
チクノール錠に限る
平町五 山野邊藥局

關内藥局
電話四〇番

登録商標
醤油
味噌
鰹節
酒類
罐詰
食料品
製造問屋
鹽屋山崎合名會社
電話 營業部一〇番 工場二七番

君は、いゝ型の洋服を求めたね!!!
誂かへ?
いや君、コレは例の『ソレ』
正札堂さ

平町停車場通り
正札堂

常磐第一ノ大炭礦ナル磐城炭礦ノ石炭
ツ
石炭トコークスノ特長
一、目方ノ正確
二、品質ノ優良
三、配達ノ迅速
ドーシテアンナ良イ品ヲソンナニ安ク賣レルカト驚カレ一度使ヘバ永久ニ使ヘ下サルノガ當店石炭ト『コークス』ノ特長
値安正十貫目 一俵 金六十五錢也
平驛前
阿部石炭商店
(電話二三七番)

高久病院
院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
平町田町 電話五一三番

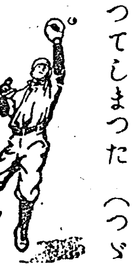
常磐毎日新聞
日刊
發行兼編輯人 印刷人 川崎文治
本社ト同番地 印刷所 常磐毎日印刷所 (電話六三〇番)
定價 一部金貳錢 一ヶ月卅錢 郵税五厘
廣告料 五號十二字詰一行 五十錢
休刊 日曜大祭日ノ翌日
發行所 福島縣石城郡平町長橋町三五 常磐毎日新聞社 電話六三〇番
十二月九日夕刊

常磐論壇

景氣の根抵 (27)

經濟學博士太田正孝氏述

さうなると澤山の運賃が取れることになつて結局十五圓やそこらの輸入超過は何でもないことになる。是はジユネーブの會議でも問題になつたが英吉利は澤山商船を持つて居る其の澤山の商船が英吉利の旗を立てゝ何處の國へでも行く之に小さい大砲を載せれば直ぐ軍艦になつて國を守ることが出來る、斯樣な船を英吉利は持つて居るのであるから是も軍縮の算盤勘定に入れなければならぬと云ふのが今度のジユネーヴ會議の論議の問題である、所で是等の商船で物資を運び、外國から受取る運賃がどの位あるかと云ふと、三十億あり ますから輸入超過の十五億と差引して尚ほ五億圓殘る從て十五億位の輸入超過は心配でも何でもない、所で我國の船成金などあつた大正七、八年には五億見當の貿易であつたものが、今日の貿易勘定では一億圓と一寸しか出て居ない、それで十四億も輸入超過になつたと云ふことは悲慘な形であります、もう一つは先程申しました金の値打と云ふものが外國に對して下つた爲替相場が下つたと云ふことが一つの形であります、併し爲替相場は戰前になつて段々下つて行つて三十八弗二分の一と二分も下つて行つたが是が又段々上つて行つて又困つた、何故困つたかと云ふと金の値が上ると物の値が下る。輸出をする場合に生糸の爲に非常に困つてしまつた多く輸出して貰ふ金は少くなる。爲替相場が上つて來て今年の三月になつて四十九弗所まで來た。金が段々上つて輸出は困つてしまつた (つゞく)



會社側の困らせ策に
健保を合理的に惡用
實施後の疾病休業
從前に比し三倍強の增加

石城郡各炭礦と健保組合の設置は從業員の疾病保護の爲その趣旨目的に誤りなきも實際に臨んで遺憾少なからず殊に同盟罷業の際の如き最も著しく之れを惡用されるの結果各鑛共に

當惑しつゝある處で勞働者に對する德義心の喚起と施行上の諸規程に改廢の要あるを唱へられてゐるが同法實施後の疾病休業は郡内の最大會社である磐城炭礦の事實に見るも從前に比し三倍强の增加で本年一月から去る十月迄の組合

總收入　金三十萬四千四百四十一圓餘に對する總支出四十三萬九千四百九十八圓餘で此不足額實に十三萬五千五十六圓餘に達し一人平均經費四十五圓九十二錢、當り同月末日現在被保險者九千五百七十八の平均不足額十四餘圓を示し同年九月迄の一日平均患者總數七百五十二人休業

延日數　廿萬五千二百廿一人と稱するばう大な數字に上り之れを炭礦勞働者一ケ月廿一日の從業から見れば約一千人の休業で患者の多いのは爭議等による同施設濫用の激增を例外として矢張り氣の浮立つ三四月頃と酷暑の八九月に於ける消化器病の

記九ケ月間の休業患者百分比を上ぐれば左記の如く罹員の僅々七分に對する勞働者の廿八五分は比例の餘りに伴はざることは何人にも思考されるであらうと

磐炭健保患者百分比職員甚絶七分運轉六八六分製作五八建築三八一分發電四八六分第三斜坑一八八町田坑一一八四分高坂坑二〇八五分綴坑一一八一分芝他八八北中一二八六分

續出期　であつて當

窃取の金額
五百圓餘に達す

石城郡好間村大字北好間字三反田窃盜前犯三犯根本梅二（三九）は本年九月二十六日一ケ年の懲役にて福島刑務署を甲獄後諸所徘徊中上好間大字最代大島重次及北好間小幡勇助方等から羅紗オーバ（何れも價格二十圓位）を窃取した外宮城、茨城兩縣地方迄荒し廻り二十餘件合計五百圓に達する窃盜を働てゐた事が署に探知され九日夜立町地方を徘徊中青田部長刑事に逮捕された

草野俵米入賞
石城郡草野村農會主催の俵米品評會褒狀授與式は九日午後一時から同村公會堂に擧行概賞者は左記の通りで之れが終了後入札により出品米を入札に附し賣却した

△一等江尻伊勢治△二等

電報配達は
今が最も繁忙
初春には暇

平郵便局では日に郵便物が激增して來たが今月最も繁忙を極めるのは電報で配達は六人目下矢繼ぎ早に局から市内へ市内から局と赤自轉車を飛ばして目まぐるしい活動を續けて居るか電報は他の郵便物が一月に入つてから忙しくなるに反して若春の磐を聞けば全く暇となるが例で此月丈は配達屋さんは戰時狀態である

磐城青年同盟
平窪支部發會

四倉町に本部を置く青年の政治結社磐城青年同盟會は今回平窪村に支部を新設した爲め十一日午前十時より

同村小學校に於て發會式を擧げ本部會長及び會員の演說村内有志並に來賓の祝辭あり終つて懇親會に移り餘興ある由

石城郡の
海軍志願兵
八十一名募集

石城郡に於ける明年度の海軍志願兵募集人員は郡内を通じ八十一名と決定縣學務課より通牒に接したので各町村に於ける割當は目下人口により夫れ〳〵調査中であるが檢査執行は來年三月十日平町舊郡衙會議室で行ふ事になつた

平町火の用心　平町

役場にては火災の時季になつたので『火の用心』と題する注意書を印刷し本町全町に配布したと

平町から
車稅テツ廢　運動
組合員調印

平町地方で近來自動車が激增したため人力車營業者は收入が減じ生活の脅威を受けてをり稅金の納入が困難になつて來たといふので平町人力車營業組合では人力車稅の撤廢運動を起し五十餘名の組合員一同調印の上縣下各地の同業者と協力して今期縣會に陳情、その實現を期する事となつた

湯本を中心に
巧妙な詐欺
嫌疑者捕る

平警察署では最近管内湯本町を中心として巧妙なる詐欺擧件が頻出するので各刑事駐在巡査等協力該犯人逮捕に努めてゐたが八日夜半歲前後の男が湯本町を徘徊

江尻傳同古市喜一△三等
小島喜久江外三名△四等
大木七太郎外七名

募集
文藝其他投稿を募集します

中取押へ直ちに本署に連行嚴重なる取調べを開始した未だ罪狀明ならざるも彼害は相當巨額に上り各方面に連絡があるらしいと

新井石禪師の
供養を行ふ
性源寺にて

曹洞宗大本山總持寺貫首新井石禪師は病氣中の處七日午後十時半遷化し十一日午後二時本山に於て葬式を修業の筈なる爲め平町長橋町性源寺にては與式時刻に寺總代其他參集供養する由

◇芋ヨーカン　さつまを蒸して皮をとりすりつぶして鹽を少し砂糖を適當に入れて芋の量の五分の一位メリケン粉を入れ、火にかけ鍋の中で練り、粉に火通つたらば鍋を火からおろし練つたものを四角な箱の中へ入れてかため棒型に切れば芋ヨーカンが出來ます

手の荒止にレモン

うまい物の話
——（五）——

阿部政右衛門
石川友二郎
松本德一
高野卯之吉
川崎文治

——順序不同——

松本、蕎麥では一時酒喜庵が非常な人氣でイツモ客がギツシリ詰め掛けて居たものですが其後スツカリ下火になつて仕舞つたのはどう云ふ譯でせう

石川、あれはタレが惡いとの評判が通つた爲めですヨ

高野、實際一時は、タレがまづくて食べられないとの事で客足もへり其後非常な勢で手を伸はした藪そば等に押される樣になつたため考へたらしくタレも此頃は大分よくなり客受けもなはつたらしいです

松本、しかし今の所蕎麥屋での繁昌は矢張り藪そばが一番ですかネ、

阿部、南町の磐越銀行の隣りに小さな蕎麥屋がある其處の出前を何處かで食べたがタレの味の良いには驚いた、

石川、盛りの良いのは長橋の松屋とすネ、先日性源寺の墓參の歸りに立寄つて二ツあつらへを通したんだが一ツ食べたら滿腹でお替りの出來て來ないのを幸ひにこちらからあやまつて仕舞ひました

阿部、總べてメン類はタレの味で食はせる物なのですから一般にそば屋はも少しタレを吟味してくれるといいですネ

川崎、そば屋も可哀想に此頃では洋食屋に押され氣味で現にそば屋を廢業して洋食屋の看板に書き替へた家もありますが是れは一種の味覺の時代傾向で實際にそば屋では立ちゆかなくなつたのでせうか

（つゞく）

磐中關係の
海軍異動
多士濟々振り

過般行はれたる海軍定期異動中磐中關係の分一部既報の通りであるが全部の同校關係者を見ると左の通りである（括弧内は卒業の回數）

吳鎭守府人事部員如故
海軍中佐猪瀨乙彥（一）
任海軍大佐
横須賀海軍病院部員
軍醫中佐相田常次（一）
任海軍軍醫大佐
第十八潛水隊機關長如故
機關少佐佐々木猪三郎（六）
任機關中佐
岩手分隊長如故
海軍中尉吉田英三（一九）
任海軍大尉
加古乘組如故
海軍少尉新田日直壽（二二）
任海軍中尉
呂六十八號艦長
海軍少佐高木武雄（九）
補第二潛水隊參謀
五十鈴主計長
主計大尉長谷川清（一〇）
補佐世保港務部主計長
峰風乘組海軍中尉
宮本進（二〇）
命加古乘組
尚更迭せざる同校出身者は
横須賀鎭守府艦船部員中佐鈴木春五郎（三）佐世保驅逐艦長中佐角田貞雄（四）驅逐艦妓尾艦長中佐鈴木幸三（五）鳳翔分隊長大尉菊地朝三（一四）佐多分隊長大尉鴨遊波夫（一七）金剛乘組主計少尉佐竹誠（二一）水雷學校學生少尉小野四郎（二三）同大和田寬（二三）
の諸氏である

名濱陳情
民政昭和會員

小名濱町民政昭和會員三十數名は八日午後縣會議事堂に政民兩派議員を訪ひ小名濱築港計畫案通過に努力されたき旨陳情した